

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。

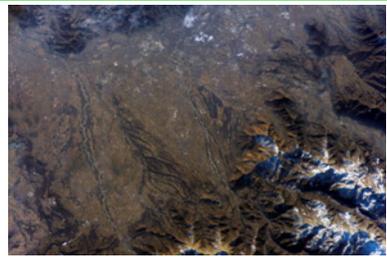
- ☆最初のISS構成要素打上げから2643日経過しました
- ☆第12次長期滞在クルーのISS滞在は135日経過しました
- ☆ISS動向

先週、船外活動を終えた第12次長期滞在クルーのウィリアム・マッカーサーとバレー・トカレフ両宇宙飛行士は、科学実験、定期メンテナンスなど通常の作業に戻りました。

ふたりは、宇宙服を乾燥させるなど船外活動後の後片づけを行い、米国時間2月6,7日は休暇をとり軽い作業をして過ごしました。

トカレフ宇宙飛行士は「ピアース」(ロシアのドッキング室)にドッキングしているプログレス補給船(20P)でスラスタ試験を行う準備をしました。米国時間2月11日に20Pのスラスタを使用して軌道高度上昇(リブースト)を行いました。ピアースにドッキングしたプログレス補給船がリブーストに使用されるのは初めてです。

マッカーサー宇宙飛行士は、関節角度や圧力を感知するセンサを取り付けたサイクリング用タイツをはいて骨と筋肉の劣化状況調査(FOOT)実験のためのデータを収集しました。



ISSから撮影したイタリア北西部



マッカーサー宇宙飛行士

“JAXAの宇宙飛行士”

- ☆古川、星出、山崎宇宙飛行士、ミッションスペシャリスト(搭乗運用技術者:MS)認定!

2004年6月からNASAジョンソン宇宙センター(JSC)を中心にミッションスペシャリスト(搭乗運用技術者:MS)候補者訓練を行っていた、古川聡、星出彰彦、山崎直子宇宙飛行士は、米国時間2006年2月6日に全ての訓練を終了し、同2月10日にNASAからミッションスペシャリストとして認定されました。

3人は引き続きヒューストンに滞在し、MS訓練を継続する予定です。

JAXAの宇宙飛行士の訓練などの様子については、毎月活動レポートでお伝えしています。

JAXA宇宙飛行士活動レポート 2005年
<http://iss.sfo.jaxa.jp/astro/report/2005/>



古川聡宇宙飛行士



山崎直子宇宙飛行士(中央)



星出彰彦宇宙飛行士



MS候補者訓練の一部

“スペースシャトル最新状況”

3機のスペースシャトル・オービタはNASAケネディ宇宙センター(KSC)のオービタ整備施設(OPF)にてそれぞれ整備が行われています。ディスカバリー号は、2006年5月以降の打上げを目指して作業中です。

- 【ディスカバリー号:打上げミッションSTS-121(ULF1.1)】

センサ付き検査用延長ブーム(OBSS)への熱防護システム(TPS)ブランケットの取り付け作業中。

メインエンジン取り付け後の漏洩試験でメインエンジンのNo.2とNo.3に異常が見つかったため、取り外して評価解析中。来週再度取り付け予定。

スペースシャトル組立棟(VAB)にて、固体ロケットブースタ(SRB)の組み立て作業中。

- 【アトランティス号:打上げミッションSTS-115(12A)】

電源停止期間中。400個以上のギャップフィラー(タイル間の詰め物)の交換が行われた。昨年のSTS-114で2箇所のギャップフィラーのゆるみが見つかったため、取り付け方法が改良された。

- 【エンデバー号】大規模改修後の整備中。



クレーンで持ち上げられるSRBの一部



SRBの組み立て

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/>

Eメール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。